国際連合

ポイント１　国際連合の発足と役割

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①　二つの国際組織

第一次世界大戦後，戦争の再発を防ぐために

1920年　＿＿国際連盟＿＿が発足

↓

第二次世界大戦を防げなかった反省から

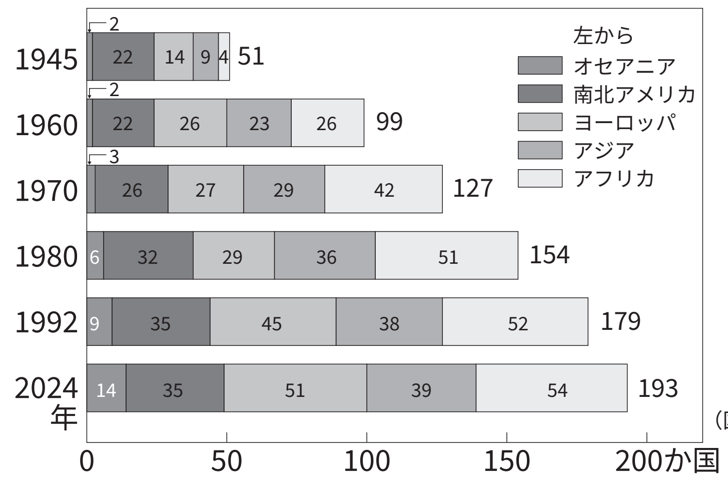
1945年　＿＿国際連合憲章＿＿の採択（さいたく）により，＿＿国際連合（国連）＿＿が発足

2020年時点で193か国が加盟

資料1　国際連盟と国際連合（国連）の比較

国際連盟		国際連合（国連）
1920年	**成立年**	1945年
ジュネーブ（スイス）	**本部**	ニューヨーク（アメリカ）
不参加：アメリカ 加盟遅れ：ソ連 脱退：日本，ドイツ，イタリア	**加盟国**	最初から加盟：アメリカ， イギリス，フランス，中国，ソ連
全会一致	**表決**	多数決 五大国一致（安全保障理事会）

資料2　国連加盟国数の推移



（国連資料より作成）

② 国際連合の主な目的

世界の平和と安全の維持

文化や経済など，さまざまな分野での国際的な協力の推進

③ 世界の平和と安全の維持

集団的安全保障：安全や平和をおびやかす行動をとった国に対して，
その他の国々が集団で制裁を加える制度や考え方

平和維持活動（PKO）：紛争地域で停戦や選挙監視（かんし）などを行う

④ さまざまな分野での国際的な協力の推進

社会，文化，教育，保健衛生，人権など幅広い分野にわたり

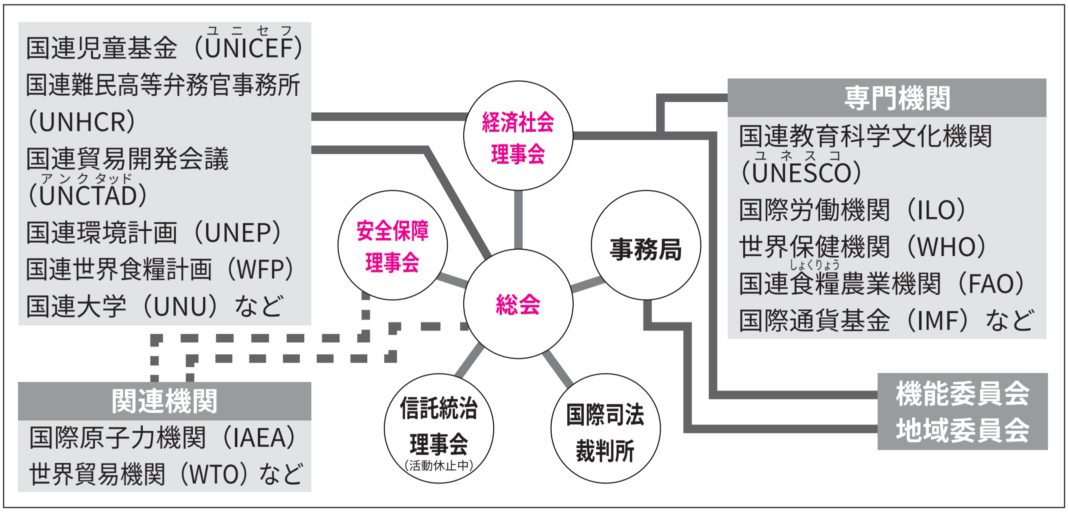
専門機関 やその他の国際機関，非政府組織（NGO）などとも連携

2015年 **持続可能な開発目標（SDGs（エスディージーズ））** の設定

ポイント 2 国際連合の仕組み

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 国際連合の仕組み



② 国連の総会

総会：全加盟国で構成
主権平等の原則により全ての国が平等に1票を持つ
年1回の定期総会のほか特別総会などもある

③ 国連の中心

安全保障理事会（安保理）：国際紛争の解決と世界平和の維持を目的とする

常任理事国：アメリカ，ロシア，イギリス，フランス，中国の5か国
拒否権を持ち，1か国でも反対すると採択できない仕組み

非常任理事国：10か国
任期2年で毎年半数が選ばれる

④ 主要機関

経済社会理事会：経済や社会などに関する問題を処理する機関

専門機関：経済社会理事会を通じて，国際連合と連携して活動する国際機構
【専門機関の例】UNESCO（国連教育科学文化機関）
WHO（世界保健機関）など

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 世界の平和と安全の維持などを目的として1945年に発足した国際機関は何か。 ＿＿＿＿＿ **国際連合（国連）**

(2) 国際紛争の解決と世界平和の維持を目的とする国際連合の中心機関は何か。 ＿＿＿＿＿ **安全保障理事会（安保理）**

(3) 国際連合が紛争地域で停戦や選挙監視などを行う活動を何というか。 ＿＿＿＿＿ **平和維持活動（PKO）**

(4) 2015年に国際連合が設定した「持続可能な開発目標」のことをアルファベットで何というか。 ＿＿＿＿＿ **SDGs**

(5) 全加盟国で構成され，主権平等の原則により全ての国が平等に1票を持つ国際連合の会議は何か。 ＿＿＿＿＿ **総会**

(6) 安全保障理事会において拒否権を持つ5か国を何というか。 ＿＿＿＿＿ **常任理事国**

(7) 経済や社会などの問題を処理する国際連合の機関を何というか。 ＿＿＿＿＿ **経済社会理事会**